一人でも多くの方に素敵な庭を届け 自分たちもより幸せに――

造園のデザインから施工、外構工事、樹木のメンテナンスまで手掛ける『植信』。本格和風庭園を造れる技術をベースに、お客様のご要望に合わせてバラエティー豊かな庭造りを提案している。同社を推進するのは、庭造りを心から愛し、情熱を持って邁進し続けている岡田社長。「庭造りは人に幸せを届ける仕事」という信念を持ってスタッフと共に歩む社長のもとを、本日は元WBCバンタム級チャンピオンの山中慎介氏が訪問。インタビューを行った。

――本日は『植信』さんの事務所にお邪魔しました！　こちらは広々とした空間が広がり、滑り台などもあって、とても心地良良いですね！

ありがとうございます。私は子どもが好きで、子どもたちが遊べる空間や、スタッフたちが子育てをしながら働ける環境を提供したいと思い、このような場所をつくりました。今後はさらに手を加えてお茶や軽食などを楽しめるようにして、より多くの方々の憩いとなるような空間にしていければと考えています。

――それは良いアイデアですね！　御社のお客様はどのような層が多いのでしょう。

一般住宅から店舗や事務所まで、多くのお客様にご愛顧いただいています。最近はコロナ禍で在宅ワークが増え、お庭を綺麗にしたいという方も増えていますね。生活の一部として楽しむ空間ですので、植物と暮らす心のゆとりを楽しんでいただけると嬉しく思います。店舗においては美容室や飲食店、歯医者さんなどのお庭も手掛けています。多くの人に見られる場所を任せていただけるのは本当に嬉しいことです。

――お仕事は県外にも行かれていて？

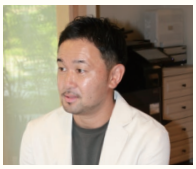
はい。お呼びいただければ、県外にも出張します。最近は当社のInstagramを見てくださった建築会社さんからのご依頼も増えてきていますね。時代的なニーズの変化にも柔軟に対応し、人々に喜ばれる仕事を手掛けていきたいと考えています。

――柔軟なお考えを持っておられる。岡田社長が、お仕事を始めたきっかけとは？

21歳の時に、剪定の仕事をしていた父に勧められて始めました。本格的に興味を持つようになったのは、プロの庭師の方々が読む専門誌「庭」を読んだ時で、一流の方々の仕事の素晴らしさに衝撃を受け、「自分もこの雑誌に載るような庭を造りたい」と思いました。それからは雑誌に出ている庭師の方に会いに行ったり、講演会に出向いて勉強したり、お金を貯めて京都の庭園巡りをしたりしました。自分が請けた仕事においても予算以上のお金を掛けたりして、夢中で取り組んでいったのです。

――本領発揮ですね。念願の掲載には至りましたか。

お陰様で取材に来ていただけ、大きな励みになりました。ただ、現在に至るまでには苦労もありまして、ある時は仕事で大怪我をして心身ともに疲弊し、仕事ができなくなった時期があったのです。若いスタッフも去ってしまい、本当に苦しい時期でした。ただ、どん底まで落ちた時に「やってやる」と力が湧いてきまして、再び立ち上がり、ここまで歩んできました。



「岡田社長の好きな言葉は『前進あるのみ』。そのお言葉通り、危機にも耐え、常に前を見て進んでこられました。今の幸せは、その頑張りあってこそのもの。素晴らしい仲間の皆さんと幸せな時間を過ごしていってください！」　山中 慎介：談

――強い思いを持って歩みを進めてこられたことが窺えます。スタッフさんもそんな姿勢に惹かれてまた集まってきたのでは？

ええ。ありがたいことに、「色んなスタッフが楽しく働ける環境を」と考える中で、良いスタッフたちが集ってくれました。若い人たちが多く、みんな庭造りが大好きという点で共通していて、ラングループで熱く語り合うこともあるほど。何より人柄が素晴らしく、仕事においても信頼できる人たちなので、できるだけ私は口を出さずに各々に仕事を任せるようにしています。最高のメンバーに囲まれ、今人生で一番の幸せを感じています。

――良かったですね！　最後にその大切な方々に向けてメッセージをお願いします。

庭造りは人に幸せを届ける仕事だと思っています。だから「一人でも多くの人に幸せを届けて、自分たちも幸せになろう」と伝えたいです。仕事をしていると時に大変なこともありますが、みんなで自然体で楽しくやっていきたいと思っています。

Company Data
株式会社　植信
福島県西白河郡中島村滑津大池向26-21
URL：http://niwauesin.com
Instagram：https://www.instagram.com/niwauesin/

© 2022 USP-Management Co., Ltd.